



開知

令和6年10月25日号

佐世保市立世知原小学校  
校長 兼 正晴

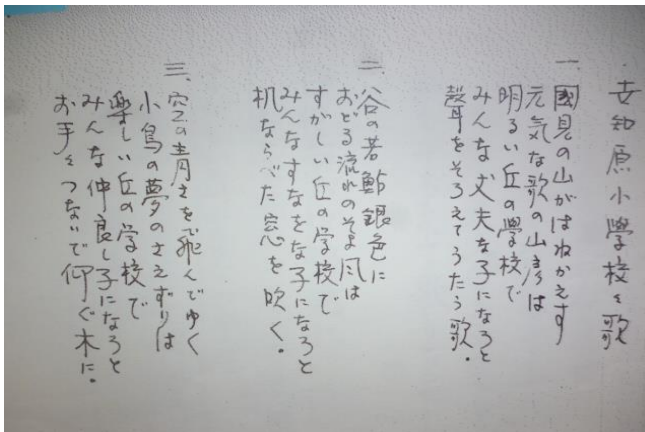
### 柿とり

秋になると柿とりに出かけていた。  
竹の先に棒を入れ、柿の枝をひっかけて柿を採る。  
一番高いところに一つ、真っ赤な柿があった。  
絶対に落とさないように言われ、  
慎重に採ると、じゅくじゅくに熟れた柿だった。  
皮は手でむける。  
青い空の中、柿の木のとっぺんに見えた赤い柿の実、  
その味は、甘すぎるぐらい甘い。  
甘い匂いがそこらじゅうに広がった。



世知原で食べたことがある木の実  
柿、ムベ（ウベ）、栗、キンカン、ミカン、ビワ、椎の実・・・

### ☆☆☆☆世知原小アレコレ「校歌」について☆☆☆☆



世知原小学校の校歌の作詞は岸川勝己氏、作曲は平川ゆか子氏です。

平成28年頃、当時の教頭先生が校歌について調べた資料がありました。作詞の岸川氏は、昭和43・44年のPTA会長を務めておられたことから、当時、世知原在住の方です。また、この校歌の歌詞をコンクールに応募した原文（写）が残されており、その端には「昭和25年6月20日応募」と記されていることから、この前後に現在の校歌が作成されたものと考えられます。また、この歌詞は1番は「山」2番は「川・風」3番は

「木」に関して、子供たちや校舎の情景を歌っています。世知原の自然の中で、丈夫な子に素直な子に仲よきな子に育て欲しいという願いが込められています。

作曲の平川氏についての資料は残っていませんが、この曲の特徴は3拍子であることです。3拍子の校歌はあまりありません。この3拍子の校歌に慣れると他校の校歌に違和感すら感じます。この3拍子が、そびえる山、谷を流れる佐々川やそよ風、青き空に向かう木々とみごとに調和しています。

今年度は、創立150周年を迎え、例年以上に子供たちは校歌をたくさん歌っています。今後も、この校歌を大切に歌い継いで欲しいと思います。

# 世知原っ子、がんばれ！

させぼスポーツマンズ競技大会は、佐世保市民体育祭をリニューアルした競技大会です。

大会名	種別・種目、記録、氏名	期 日
佐世保市小学校夏休み作品展  	第5学年 優秀賞	9月1日
	第1学年 優秀賞	
	第2学年 優秀賞	
	第3学年 優秀賞	
	第4学年 優秀賞	
	第4学年 優秀賞	
	第5学年 優秀賞	
	第6学年 優秀賞	
交通安全ポスターコンクール (世知原地区健全育成会)	最優秀賞	9月6日
	優秀賞	
	佳 作	
	佳 作	
	佳 作	
第23回江迎町武道館剣道大会	小学1・2年男子 準優勝	9月29日
	小学1・2年女子 第3位	
	小学3・4年女子 準優勝	
第6回させぼスポーツマンズ (剣道)	小学3年女子 優 勝	10月5日
	小学2年以下女子 準優勝	
	小学2年以下女子 第3位	
	小学4年男子 第3位	
第27回西九州親善剣道松浦大会	小学1年 第3位	10月6日
第6回させぼスポーツマンズ (柔道)	小学5年 準優勝	10月13日
第49回県北地区少年柔道大会	小学生高学年の部 優勝	10月20日
	小学生団体 優勝 世知原柔道クラブ	
第6回させぼスポーツマンズ (空手)	小学3・4年女子型 優勝	10月20日



## オレンジリボン・児童虐待防止推進キャンペーン



11月は「秋のこどもまんなか月間」の取組として、児童虐待防止推進キャンペーンが実施されます。今年度の標語は「189 (いちはやく) 気づいてあげて そのサイン」です。本校におきましても、「児童に対するセクシャル・ハラスメントに関する調査」をはじめ、各種アンケート調査等を実施します。

次のような行為は、虐待に該当する場合があります。

≪①身体的虐待≫なぐる、ける、たたく、投げ落とす、首を絞める ≪②性的虐待≫性的な関りを要求する ≪③ネグレクト≫養育放棄、怠慢 ≪④心理的虐待≫子供の心を傷つけることをくり返し言う、他のきょうだいと著しく差別的な扱いをする、子供の前での大人の暴力行為などによる心理的外傷

虐待は、子供の体だけでなく、心の成長にも大きく影響します。大人が子供との関わり方を見つめ直す機会としたいと思います。